

■帯広畜産大が2年ぶりAクラス。道学生選手権1部も終了

第51回北海道学生アメリカンフットボール選手権第9節は10月19日、帯広畜産大グラウンドで1部の1試合を行い、帯広畜産大が55-14で室蘭工業大を下した。1部はこの日で全日程を終了し、帯広畜産大が2勝1分け2敗で釧路公立大と並んで3位、室蘭工業大は1勝4敗で5位となった。帯広畜産大のAクラスは2年ぶり。最終節は10月26日（日）、札幌学院大グラウンドで1、2部の入れ替え戦と表彰式を行う。

試合は帯広畜産大がQB穂山偉月（2年）のラン、パス、レシーブでの活躍で8TDを奪い、圧勝した。

帯広畜産大は第1Q、室蘭工業大の最初のドライブでDL佐々響己（4年）がインターセプトして攻撃権を得ると、QB穂山の7ヤードキープで先制。9分と11分にもRB安澤十野（3年）の1ヤードダイブと39ヤードランで加点了。第2QはQB穂山からWR桂田陽向（4年）への11ヤードパスでTDを加え、27-7で前半を折り返した。後半も第4Q3分と6分にQB穂山の3ヤードと4ヤードのラン、10分にRB安澤の9ヤードラン、11分には敵陣38ヤードからの攻撃でQB穂山のパスを受けたWR桂田がT西村駿佑（4年）ヘラテラルパス。西村がエンドゾーンまで走り切ってリードを広げた。



室蘭工業大は第2Q5分にRB友田悠斗（4年）の2ヤードラン、第4Q開始直後にQB原田颯太（3年）からWR西京介（2年）への56ヤードパスで14点を返したが、要所で4インターセプトを喫するなど、帯広畜産大守備を崩せなかった。

帯広畜産大の工藤弘貴コーチは「得失点差で釧路公立大を上回るのを目標にTDを狙った。RB安澤が良く走り、OLの山田雄太（3年）も強かった」と選手たちの頑張りをたたえた。ランとパスで5TDのQB穂山は「（第2、3Qの）3本のインターセプトが痛かったが、その後のプレーで気持ちを切り替えられた。ゴール前までみんなで運び、最後に自分のダイブで決めたTDがうれしかった」と喜びながら「来年はシーズンを通して活躍したい」と決意。3TDランのRB安澤も「来年は1位しか目指さない」と宣言した。スペシャルプレーでTDのT西村は「これで4年生全員がTDを取れた。気持ち良かった」と満面の笑みだった。

室蘭工業大の半沢伸太郎監督は「プレーの完成度の差が出た。タックルミスも多かった。冬の間、下級生にしっかりと練習させる」と巻き返しを誓った。
（広報委員 塚田博）